

【書類名】 特許願

【整理番号】 JP9010026

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 E05B 49/00

【発明者】

【住所又は居所】 滋賀県野洲郡野洲町大字市三宅 8 0 0 番地 日本アイ・ビー・エム株式会社 野洲事業所内

【氏名】 寺田 広人

【発明者】

【住所又は居所】 滋賀県野洲郡野洲町大字市三宅 8 0 0 番地 日本アイ・ビー・エム株式会社 野洲事業所内

【氏名】 高吉 順二

【発明者】

【住所又は居所】 滋賀県野洲郡野洲町大字市三宅 8 0 0 番地 日本アイ・ビー・エム株式会社 野洲事業所内

【氏名】 能登 裕和

【特許出願人】

【識別番号】 390009531

【氏名又は名称】 インターナショナル・ビジネス・マシーンズ・コーポレーション

【代理人】

【識別番号】 100086243

【弁理士】

【氏名又は名称】 坂口 博

【電話番号】 0462-73-3318

【代理人】

【識別番号】 100091568

【弁理士】

【氏名又は名称】 市位 嘉宏

【代理人】

【識別番号】 100106699

【弁理士】

【氏名又は名称】 渡部 弘道

【復代理人】

【識別番号】 100094248

【弁理士】

【氏名又は名称】 楠本 高義

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 012922

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 受付システム、受付処理方法、及び受付処理用プログラム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 通信ネットワークを介して訪問者の入出門管理を行う受付システムであり、

訪問者の来訪データを記憶する来訪データ記憶手段と、

応対者が予約データを入力し、該入力した予約データを前記通信ネットワークを介して該来訪データ記憶手段へ送信して記憶させる応対者入出力手段と、

訪問者が保持する識別手段から識別データを読み取る識別データ読取手段と、該読み取った識別データから訪問者を特定して訪問者データを作成する訪問者特定手段と、

該訪問者データを前記通信ネットワークを介して該来訪データ記憶手段へ送信して記憶させる訪問者送信手段と

を含む受付システム。

【請求項 2】 通信ネットワークを介して訪問者の入出門管理を行う受付システムであり、

訪問者の来訪データを記憶する来訪データ記憶手段と、

応対者が予約データを入力し、該入力した予約データを前記通信ネットワークを介して該来訪データ記憶手段へ送信して記憶させる応対者入出力手段と、

訪問者が保持する識別手段から識別データを読み取る識別データ読取手段と、該読み取った識別データから訪問者を特定して訪問者データを作成する訪問者特定手段と、

該訪問者データに関係付けられる予約データを該来訪データ記憶手段から前記通信ネットワークを介して検索する予約データ検索手段と、

該予約データを入力した応対者入出力手段へ前記通信ネットワークを介して訪問通知データを送信する訪問通知データ送信手段と

を含む受付システム。

【請求項 3】 通信ネットワークを介して訪問者の入出門管理を行う受付システムであり、

訪問者の来訪データを記憶する来訪データ記憶手段と、  
応対者が予約データを入力し、該入力した予約データを、前記通信ネットワークを介して該来訪データ記憶手段へ送信して記憶させる応対者入出力手段と、  
訪問者が保持する識別手段から識別データを読み取る識別データ読取手段と、該読み取った識別データから訪問者を特定して訪問者データを作成する訪問者特定手段と、  
該訪問者データに関係付けられる予約データを該来訪データ記憶手段から前記通信ネットワークを介して検索する予約データ検索手段と、  
該訪問者データに関係付けられる予約データが存在する場合に、認可データを出力する認可データ出力手段と  
を含む受付システム。

【請求項 4】 前記訪問者データに関係付けられる予約データを該来訪データ記憶手段から該通信ネットワークを介して検索する予約データ検索手段と、  
該予約データを入力した応対者入出力手段へ該通信ネットワークを介して訪問通知データを送信する訪問通知データ送信手段と  
を含む請求項 1 に記載する受付システム。

【請求項 5】 前記訪問者データに関係付けられる予約データを該来訪データ記憶手段から該通信ネットワークを介して検索する予約データ検索手段と、  
該訪問者データに関係付けられる予約データが存在する場合に、認可データを出力する認可データ出力手段と  
を含む請求項 1 又は請求項 2 に記載する受付システム。

【請求項 6】 前記識別データ読取手段が、第一の識別データ読取手段と第二の識別データ読取手段とを含む請求項 1 乃至請求項 5 のいずれかに記載する受付システム。

【請求項 7】 前記識別手段が名刺を含み、少なくとも前記第二の識別データ読取手段が訪問者の保持する訪問者の名刺に記載された文字を前記識別データとして読み込む名刺リーダーを含む請求項 1 乃至請求項 6 のいずれかに記載する受付システム。

【請求項 8】 前記識別手段がバーコードを含み、少なくとも前記第一の識別デ

ータ読取手段がバーコードリーダーを含む請求項 6 又は請求項 7 に記載する受付システム。

【請求項 9】 前記バーコードが訪問者の保持する応対者の名刺に付加された請求項 8 に記載する受付システム。

【請求項 10】 前記訪問者特定手段が番号入力手段を含み、前記予約データ検索手段は、前記バーコードリーダーが読み取ったバーコードに基づいて作成した訪問者データに関係付けられる予約データが存在しない場合に、該番号読取手段に入力された番号に関係付けられる予約データを検索する請求項 8 又は請求項 9 に記載する受付システム。

【請求項 11】 第二の識別データ読取手段の読み取った識別データから特定した訪問者データに関係付けられる予約データが存在する場合に認可データ出力手段に認可データを出力させる認可データ出力制御手段を含む請求項 6 に記載する受付システム。

【請求項 12】 前記訪問通知データ送信手段が、前記訪問者データに関係付けられる予約データが存在する場合に、該予約データを入力した応対者入出力手段へ前記通信ネットワークを介して訪問通知データを送信する請求項 2 又は請求項 4 に記載する受付システム。

【請求項 13】 前記認可データが入門許可データ又は出門許可データである請求項 3 又は請求項 5 に記載する受付システム。

【請求項 14】 応対者入出力手段から該認可データ出力手段へ前記通信ネットワークを介して認可データの出力を指令し得る請求項 3 又は請求項 5 に記載する受付システム。

【請求項 15】 前記認可データがカード上に付加されて出力される請求項 3 又は請求項 5 に記載する受付システム。

【請求項 16】 前記カード上の認可データを認識することにより門扉を開錠し又は開ける門扉開閉制御手段を含む請求項 21 に記載する受付システム。

【請求項 17】 通信ネットワークを介して訪問者の入出門管理を行う受付処理方法であり、

(a) 応対者が予約データを応対者入出力手段へ入力し、該入力した予約データ

を前記通信ネットワークを介して来訪データ記憶手段へ送信して記憶させるステップと、

(b) 訪問者の保持する識別手段から識別データ読取手段によって識別データを読み取るステップと、

(c) 該読み取った識別データから訪問者特定手段によって訪問者を特定して訪問者データを作成するステップと、

(d) 訪問者送信手段によって該訪問者データを前記通信ネットワークを介して来訪データ記憶手段へ送信して記憶させるステップと  
を含む受付処理方法。

【請求項 1 8】 通信ネットワークを介して訪問者の入出門管理を行う受付処理方法であり、

(a) 応対者が予約データを応対者入出力手段へ入力し、該入力した予約データを前記通信ネットワークを介して来訪データ記憶手段へ送信して記憶させるステップと、

(b) 訪問者が保持する識別手段から識別データ読取手段によって識別データを読み取るステップと、

(c) 該読み取った識別データから訪問者特定手段によって訪問者を特定して訪問者データを作成するステップと、

(d) 該訪問者データに関係付けられる予約データを予約データ検索手段によって該来訪データ記憶手段から前記通信ネットワークを介して検索するステップと

(e) 該予約データを入力した応対者入出力手段へ訪問通知データ送信手段によって前記通信ネットワークを介して訪問通知データを送信するステップと  
を含む受付処理方法。

【請求項 1 9】 通信ネットワークを介して訪問者の入出門管理を行う受付処理方法であり、

(a) 応対者が予約データを応対者入出力手段へ入力し、該入力した予約データを前記通信ネットワークを介して来訪データ記憶手段へ送信して記憶させるステップと、

(b) 訪問者が保持する識別手段から識別データ読取手段によって識別データを読み取るステップと、

(c) 該読み取った識別データから訪問者特定手段によって訪問者を特定して訪問者データを作成するステップと、

(d) 該訪問者データに関係付けられる予約データを予約データ検索手段によって該来訪データ記憶手段から前記通信ネットワークを介して検索するステップと

(e) 該訪問者データに関係付けられる予約データが存在する場合に、認可データ出力手段によって認可データを出力するステップと  
を含む受付処理方法。

【請求項 2 0】 通信ネットワークを介して訪問者の入出門管理を行うためにコンピュータを、

訪問者が保持する識別手段から識別データを読み取る識別データ読取手段、  
該読み取った識別データから訪問者を特定して訪問者データを作成する訪問者特定手段、

該訪問者データを前記通信ネットワークを介して、訪問者の来訪データを記憶する来訪データ記憶手段へ送信して記憶させる訪問者送信手段  
として機能させるための受付処理用プログラム。

【請求項 2 1】 通信ネットワークを介して訪問者の入出門管理を行うためにコンピュータを、

応対者が予約データを入力し、該入力した予約データを前記通信ネットワークを介して、訪問者の来訪データを記憶する来訪データ記憶手段へ送信して記憶させる応対者入出力手段、

訪問者が保持する識別手段から識別データを読み取る識別データ読取手段、  
該読み取った識別データから訪問者を特定して訪問者データを作成する訪問者特定手段、

該訪問者データに関係付けられる予約データを該来訪データ記憶手段から前記通信ネットワークを介して検索する予約データ検索手段、

該予約データを入力した応対者入出力手段へ前記通信ネットワークを介して訪問

通知データを送信する訪問通知データ送信手段  
として機能させるための受付処理用プログラム。

【請求項 2 2】 通信ネットワークを介して訪問者の入出門管理を行うためにコンピュータを、

応対者が予約データを入力し、該入力した予約データを、前記通信ネットワークを介して、訪問者の来訪データを記憶する来訪データ記憶手段へ送信して記憶させる応対者入出力手段、

訪問者が保持する識別手段から識別データを読み取る識別データ読取手段、  
該読み取った識別データから訪問者を特定して訪問者データを作成する訪問者特定手段、

該訪問者データに関係付けられる予約データを該来訪データ記憶手段から前記通信ネットワークを介して検索する予約データ検索手段、

該訪問者データに関係付けられる予約データが存在する場合に、認可データを入力する認可データ出力手段

として機能させるための受付処理用プログラム。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、会社等への訪問者の入出門管理を行う受付システム、受付処理方法及び受付処理用プログラムに関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

工場等の敷地内に入場する際、入場門の受付で手続きを行うことが多い。訪問者は、受付で、自分の氏名、社名、訪問の目的、面会を希望する相手（以下、応対者という）の名前等を所定用紙に記入する。受付担当者は、用紙に記入された応対者へ来客の連絡を入れ、応対者の指示を受ける。例えば、応対者は、工場の入り口付近に設けられたロビーで訪問者に待ってもらうよう指示する。受付担当者は、訪問者へ入場許可書を渡して、応対者が指定した場所で待つように指示する。



## 【 0 0 0 3 】

## 【発明が解決しようとする課題】

本発明の目的は、訪問者の入場手続きを簡略化することにある。本発明の他の目的は、訪問者の入出門管理を手間なく行うことにある。本発明の更に他の目的は、入出門手続きの無人化にある。

## 【 0 0 0 4 】

## 【課題を解決するための手段】

本発明の受付システムは、1つの態様では、通信ネットワークを介して訪問者の入出門管理を行う受付システムであり、訪問者の来訪データを記憶する来訪データ記憶手段と、応対者が予約データを入力し、該入力した予約データを、前記通信ネットワークを介して該来訪データ記憶手段へ送信して記憶させる応対者入出力手段と、訪問者が保持する識別手段から識別データを読み取る識別データ読取手段と、該読み取った識別データから訪問者を特定して訪問者データを作成する訪問者特定手段と、該訪問者データを前記通信ネットワークを介して該来訪データ記憶手段へ送信して記憶させる訪問者送信手段とを含む。

## 【 0 0 0 5 】

本明細書において、通信ネットワークは、インターネット通信、イントラネット通信、エクストラネット通信、ローカルエリアネットワーク通信等のコンピューターを利用した信号データ通信のネットワークである。記憶、読取、特定、送信、出力、検索、制御、照合又は認識は、自動的に又は指令によってコンピューターが行う処理である。入力は、キーボード、マウス、画面、ドライブ等を用いて人間がコンピューターへ入力する処理である。記憶手段、読取手段、特定手段、送信手段、出力手段、検索手段、制御手段、照合手段、認識手段、又は入力手段は、MPUに各手段として機能させるためのプログラムを記憶したメモリを含む。訪問者は、既に受付に訪問した又は訪問中の訪問者である。関係付けられるとは、一方のデータが、他方のデータに含まれる文字、番号、又は記号等に対して、完全一致、一部一致、類似、一定のデータ加工処理によって導かれる等の関係にあることである。

## 【 0 0 0 6 】

本発明の受付システムは、他の1つの態様では、通信ネットワークを介して訪問者の入出門管理を行う受付システムであり、訪問者の来訪データを記憶する来訪データ記憶手段と、応対者が予約データを入力し、該入力した予約データを前記通信ネットワークを介して該来訪データ記憶手段へ送信して記憶させる応対者入出力手段と、訪問者が保持する識別手段から識別データを読み取る識別データ読取手段と、該読み取った識別データから訪問者を特定して訪問者データを作成する訪問者特定手段と、該訪問者データに関係付けられる予約データを該来訪データ記憶手段から前記通信ネットワークを介して検索する予約データ検索手段と、該予約データを入力した応対者入出力手段へ前記通信ネットワークを介して訪問通知データを送信する訪問通知データ送信手段とを含む。

## 【0007】

本発明の受付システムは、他の1つの態様では、通信ネットワークを介して訪問者の入出門管理を行う受付システムであり、訪問者の来訪データを記憶する来訪データ記憶手段と、応対者が予約データを入力し、該入力した予約データを、前記通信ネットワークを介して該来訪データ記憶手段へ送信して記憶させる応対者入出力手段と、訪問者が保持する識別手段から識別データを読み取る識別データ読取手段と、該読み取った識別データから訪問者を特定して訪問者データを作成する訪問者特定手段と、該訪問者データに関係付けられる予約データを該来訪データ記憶手段から前記通信ネットワークを介して検索する予約データ検索手段と、該訪問者データに関係付けられる予約データが存在する場合に、認可データを出力する認可データ出力手段とを含む。

## 【0008】

本発明の受付方法は、1つの態様では、通信ネットワークを介して訪問者の入出門管理を行う受付処理方法であり、（a）訪問者の保持する識別手段から識別データ読取手段によって識別データを読み取るステップと、（b）該読み取った識別データから訪問者特定手段によって訪問者を特定して訪問者データを作成するステップと、（c）訪問者送信手段によって該訪問者データを前記通信ネットワークを介して来訪データ記憶手段へ送信して記憶させるステップとを含む。

## 【0009】

本発明の受付方法は、他の 1 つの態様では、通信ネットワークを介して訪問者の入出門管理を行う受付処理方法であり、（a）応対者が予約データを応対者入出力手段へ入力し、該入力した予約データを前記通信ネットワークを介して来訪データ記憶手段へ送信して記憶させるステップと、（b）訪問者が保持する識別手段から識別データ読取手段によって識別データを読み取るステップと、（c）該読み取った識別データから訪問者特定手段によって訪問者を特定して訪問者データを作成するステップと、（d）該訪問者データに関係付けられる予約データを予約データ検索手段によって該来訪データ記憶手段から前記通信ネットワークを介して検索するステップと、（e）該予約データを入力した応対者入出力手段へ訪問通知データ送信手段によって前記通信ネットワークを介して訪問通知データを送信するステップとを含む。

## 【 0 0 1 0 】

本発明の受付方法は、他の 1 つの態様では、通信ネットワークを介して訪問者の入出門管理を行う受付処理方法であり、（a）応対者が予約データを応対者入出力手段へ入力し、該入力した予約データを前記通信ネットワークを介して来訪データ記憶手段へ送信して記憶させるステップと、（b）訪問者が保持する識別手段から識別データ読取手段によって識別データを読み取るステップと、（c）該読み取った識別データから訪問者特定手段によって訪問者を特定して訪問者データを作成するステップと、（d）該訪問者データに関係付けられる予約データを予約データ検索手段によって該来訪データ記憶手段から前記通信ネットワークを介して検索するステップと、（e）該訪問者データに関係付けられる予約データが存在する場合に、認可データ出力手段によって認可データを出力するステップとを含む。

## 【 0 0 1 1 】

本発明の受付処理用プログラムは、1 つの態様では、通信ネットワークを介して訪問者の入出門管理を行うためにコンピューターを、訪問者が保持する識別手段から識別データを読み取る識別データ読取手段、該読み取った識別データから訪問者を特定して訪問者データを作成する訪問者特定手段、該訪問者データを前記通信ネットワークを介して、訪問者の来訪データを記憶する来訪データ記憶手段

へ送信して記憶させる訪問者送信手段として機能させる。

【0012】

本発明の受付処理用プログラムは、他の1つの態様では、通信ネットワークを介して訪問者の入出門管理を行うためにコンピューターを、応対者が予約データを入力し、該入力した予約データを前記通信ネットワークを介して、訪問者の来訪データを記憶する来訪データ記憶手段へ送信して記憶させる応対者入出力手段、訪問者が保持する識別手段から識別データを読み取る識別データ読取手段、該読み取った識別データから訪問者を特定して訪問者データを作成する訪問者特定手段、該訪問者データに関係付けられる予約データを該来訪データ記憶手段から前記通信ネットワークを介して検索する予約データ検索手段、該予約データを入力した応対者入出力手段へ前記通信ネットワークを介して訪問通知データを送信する訪問通知データ送信手段として機能させる。

【0013】

本発明の受付処理用プログラムは、他の1つの態様では、通信ネットワークを通信ネットワークを介して訪問者の入出門管理を行うためにコンピューターを、応対者が予約データを入力し、該入力した予約データを、前記通信ネットワークを介して、訪問者の来訪データを記憶する来訪データ記憶手段へ送信して記憶させる応対者入出力手段、訪問者が保持する識別手段から識別データを読み取る識別データ読取手段、該読み取った識別データから訪問者を特定して訪問者データを作成する訪問者特定手段、該訪問者データに関係付けられる予約データを該来訪データ記憶手段から前記通信ネットワークを介して検索する予約データ検索手段、該訪問者データに関係付けられる予約データが存在する場合に、認可データを出力する認可データ出力手段として機能させる。

【0014】

【発明の実施の形態】

次に、本発明に係る受付システム及び受付処理方法の実施の形態について、図面に基づいて詳しく説明する。

【0015】

受付システム10は、図1に示すように、受付端末12とサーバー14と応対者

端末16とを含む。受付システム10は、営業所11内に設けられる。受付端末12とサーバー14と応対者端末16とは、通信ネットワーク18を介して通信可能に接続される。受付端末12は、受付に設置される。サーバー14は、多数の来訪データを記憶できるコンピュータである。応対者端末16は、営業所11内の各応対者が使用する汎用コンピュータである。

【0016】

受付端末12は、訪問者へ応対者から渡された名刺22上のバーコードを読み取るバーコードリーダー24と、訪問者の名刺26を読み取る名刺リーダー28と、データ処理を行うPC（パーソナルコンピュータ）30と、認可票を出力する印刷装置32とを含む。

【0017】

バーコードリーダー24は、名刺22に予め付加されたバーコードを読み取ることができるように、名刺22の挿入部34を含む。名刺リーダー28は、名刺の画像データ取り込みを行うイメージ・スキャナを含む。名刺リーダー28は、名刺を挿入する挿入部34と、読み取り後に名刺を返却する吐き出し手段とを含む。バーコードリーダー24は、第一の識別データ読取手段として機能する。名刺リーダー28は、第二の識別データ読取手段として機能する。

【0018】

PC30は、図2に示すように、訪問者特定手段36、訪問者送信手段38、予約データ検索手段40、訪問通知データ送信手段42として機能する。訪問者特定手段36は、訪問者データ作成手段44を含む。訪問者データ作成手段44は、名刺リーダー28が読み込んだ画像データを受信し、その画像データを文字データへ変換し、その文字データから電話番号を識別し、その電話番号を記憶する。電話番号の識別は、「電話」又は「TEL」の文字をキーとして行う。電話番号は訪問者データに含まれる。訪問者送信手段38は、この電話番号をサーバー14へ送信して記憶させる。

【0019】

名刺22に予め付加されたバーコードは応対者の社員番号であり、バーコードリーダー24は、この社員番号を読み込む。例えば、図6は、この社員番号が20

1 A 9である場合を示す。訪問者データ作成手段4 4は、訪問者がキーボード又はマウス等を使用して応対者の社員番号をP C 3 0へ入力する番号入力手段を含む。

【0 0 2 0】

予約データ検索手段4 0は、訪問者データ作成手段4 4から受信した応対者の社員番号又は訪問者の電話番号を含む予約データをサーバー1 4から検索する。予約データ検索手段4 0は、検索した予約データを含む訪問通知データを記憶する訪問通知データ記憶手段と、送信先の応対者の社員番号を送信先データとして記憶する送信先記憶手段と、印刷装置3 2へ認可票の出力指令を送信する認可データ出力制御手段とを含む。訪問通知データ送信手段4 2は、送信先データに基づいて送信先の応対者の応対者端末1 6を複数の応対者端末1 6から特定し、訪問者データをその応対者端末1 6へ送信する。

【0 0 2 1】

印刷装置3 2は、認可データ出力手段として機能する。認可データは、カード状の認可票上に付加される。

【0 0 2 2】

サーバー1 4は、来訪データ記憶手段として機能する。来訪データは、現実訪問した訪問者の訪問者データと応対者に面会予約を行った訪問者の予約データとを含む。訪問者データは、訪問者送信手段3 8から送信された訪問者毎の電話番号を含む。予約データは、訪問者毎の、氏名、会社名、住所、電話番号、入門予定日時、出門予定日時、面会に使用するルームナンバー、応対者の氏名、応対者の社員番号、応対者の社内メール・アドレス、応対者の内線電話番号等である。

【0 0 2 3】

応対者端末1 6は、応対者入出力手段として機能する。応対者端末1 6は、受付端末1 2から訪問通知データを受信する。

【0 0 2 4】

次に、訪問者がこの受付システムを用いて入門する時の受付方法について説明する。

【0 0 2 5】

最初に、応対者は、応対者端末 1 6 から訪問者の予約登録を行う。応対者は、図 3 に示す訪問者予約画面 5 0 を用いて予約データを入力する。入力する予約データは、来客予定日時データ表示部 5 2、氏名等の訪問者データ表示部 5 4、ルームナンバーデータ表示部 5 6、応対者データ表示部 5 8 に示すデータである。応対者データ表示部 5 8 の起票者社員番号は応対者の社員番号である。会議室を使用しない場合、応対者はルームナンバーデータ表示部 5 6 に示すデータを入力しない。入力した予約データは、通信ネットワーク 1 8 を介してサーバー 1 4 へ送信される。なお、応対者は、図 4 に示す検索画面 6 0 を用いて、既に予約登録している予約データを検索できる。

## 【 0 0 2 6 】

予約登録が行われた後、訪問者は、予約した日時に、営業所 1 1 の受付場所へ行く。受付場所に設置された P C 3 0 には、図 5 に示す訪問者用画面 6 2 が表示されている。又は、訪問者の操作によって訪問者用画面 6 2 が表示される。訪問者用画面 6 2 の説明が、P C 3 0 の近辺の表示板に記載されている。訪問者は、この説明に従い、バーコードの付加された名刺 2 2 をバーコードリーダー 2 4 に挿入する。このバーコードの付加された名刺 2 2 は応対者が予め訪問者に渡している。

## 【 0 0 2 7 】

次に、バーコードリーダー 2 4 が、名刺 2 2 に付加されたバーコードから応対者の社員番号を読み取る。読み取られた社員番号は、P C 3 0 に送信される。P C 3 0 の予約データ検索手段 4 0 は、この社員番号を含む予約データをサーバー 1 4 から検索する。P C 3 0 は、その予約データが存在した場合、社員番号を送信先データとして送信先記憶手段に記憶する。その社員番号は、図 6 に示す社員番号表示部 6 4 のように、訪問者用画面 6 2 に表示される。この社員番号を含む予約データが存在した場合、スキャナー釦 7 2 を押下することが可能となる。

## 【 0 0 2 8 】

P C 3 0 は、社員番号を含む予約データを検索できなかった場合、図 7 に示すように、予約不存在表示画面 6 6 に該当者が無い旨及び応対者の社員番号の入力指示を表示する。訪問者が、「OK」を押下すると、P C 3 0 は図示しない社員番

号入力画面を表示する。訪問者が、社員番号を入力すると、PC30は、その社員番号を、図8に示す社員番号データ表示部70のように表示する。PC30は、この社員番号を含む予約データをサーバー14から検索する。PC30は、この社員番号を含む予約データが存在した場合、社員番号を送信先データとして送信先記憶手段に記憶する。その社員番号は、図8に示す社員番号表示部64のように、訪問者用画面62に表示される。この社員番号を含む予約データが存在した場合、スキャナー釦72を押下することが可能となる。

#### 【0029】

次に、訪問者は、訪問者の名刺26を名刺リーダー28へ挿入し、スキャナー釦72を押下する。スキャナー釦72を押下すると、図9に示す名刺読取画面74のように、名刺26が読み取られる。PC30の訪問者データ作成手段44が名刺26の画像データに基づいて訪問者の電話番号を識別し、その電話番号を記憶する。訪問者が「Go To Main Form」と記載されたメイン画面指定釦76を押下すると、図10に示すように、電話番号表示部78に、その電話番号が表示される。訪問者は、表示された電話番号が正しいことを確認した場合、電話番号表示部78の「OK」釦を押下する。訪問者は、表示された電話番号が正しくない場合、正しい電話番号を入力した後「OK」釦を押下する。PC30の予約データ検索手段40は、この電話番号を含む予約データをサーバー14から検索する。

#### 【0030】

次に、訪問者がメール送信釦80を押下すると、検索した予約データの存否に関係なく、応対者へ訪問通知データのメール送信が行われる。検索した予約データが存在する場合、PC30は、図11に示すように、入門を認可する旨を示す予約確認画面82を表示し、印刷装置32は、入門の認可票を出力する。訪問者は認可票を受け取って入門する。検索した予約データが存在しない場合、PC30は、図12に示すように、入門を認可しない旨を示す予約確認画面84を表示し、印刷装置32は、認可票を出力しない。

#### 【0031】

以上、本発明の一実施例について説明したが、本発明は他の態様でも実施し得る



## 【 0 0 3 2 】

例えば、図 1 3 は他の態様を示す。この態様は、一の営業所 1 1 の複数箇所の受付に夫々受付端末 1 2 を設けた態様である。例えば、図 1 4 は更に他の態様を示す。この態様は、複数の営業所 1 1 に夫々、LAN（ローカルエリアネットワーク）9 0 で接続する受付端末 1 2 及び応対者端末 1 6 を設置し、各 LAN 9 0 とサーバー 1 4 とをインターネット 9 2 で接続した態様である。

## 【 0 0 3 3 】

以上、本発明は特定の実施例について説明されたが、本発明はこれらに限定されるものではない。本発明はその趣旨を逸脱しない範囲で当業者の知識に基づき種々なる改良、修正、変形を加えた態様で実施できるものである。同一の作用又は効果が生じる範囲内で、いずれかの発明特定事項を他の技術に置換した形態で実施できるものである。一体に構成されている発明特定事項を複数の部材から構成した形態でも、複数の部材から構成されている発明特定事項を一体に構成した形態でも実施できるものである。

## 【 0 0 3 4 】

## 【発明の効果】

訪問者送信手段を含む本発明の受付システム及び受付処理方法は、現実訪問した訪問者の氏名、電話番号、入門時間又は出門時間等の訪問者データを来訪データ記憶手段へ蓄積できる。このため、受付における入出門記入を省略して受付処理時間を短縮することにより、訪問者へのサービスを向上させることができる。これら受付システム及び受付処理方法は、訪問者が通常に保持する名刺等の識別手段によって訪問者を特定するため、訪問者の手を煩わすことなく訪問者を特定することができる。これら受付システム及び受付処理方法は、訪問者データを通信ネットワークを介して来訪データ記憶手段へ集中させることができる。このため、訪問者データの検索又は管理等が容易である。これら受付システム及び受付処理方法は、応対者入出力手段からサーバーに予約データを記憶させることができるため、受付端末又はサーバーにおいて予約者と現実の訪問者との照合を行うことができる。

## 【 0 0 3 5 】

予約データ検索手段と訪問通知データ送信手段とを含む本発明の受付システム及び受付処理方法は、訪問者が予約者であるか否かを確認した上で、応対者へ訪問通知データを送信する機会を訪問者に与えることができる。このため、予約を行っていない訪問者である場合又は識別データ読取手段が識別データを誤って読み取った場合、訪問者に不快感を与えることがない。

## 【 0 0 3 6 】

予約データ検索手段と認可データ出力手段とを含む本発明の受付システム及び受付処理方法は、訪問者が予約者である場合には自動的に認可データを出力し、訪問者が予約者でない場合には所定処理によって認可データの出力を行うことができる。

## 【 0 0 3 7 】

訪問者特定手段が番号入力手段を含むこの受付システムは、バーコードリーダーが誤ってバーコードを読み取ったために訪問者が予約者でないと判断した場合でも、訪問者の入力番号に基づいて再び予約者であるか否かを判断できる。このため、予約者である訪問者に不快感を与えることがない。

## 【 0 0 3 8 】

識別データ照合手段を含むこの受付システムは、訪問者から取得した2種類以上の識別データを照合することにより、本人であるか否かを確認できる。このため、例えば、不当に入手した他人の名刺を識別データ読取手段に読み取らせた場合、本人でないと判断できる。

## 【 0 0 3 9 】

読取可能指令手段を含む本発明の受付システムは、第一の識別データ読取手段によって訪問者が予約者であるか否かを確認した後に、第二の識別データ読取手段が読取可能となる。このため、例えば、第一の識別データ読取手段がバーコードリーダーであり、第二の識別データ読取手段が名刺リーダーである場合、バーコードにより予約者であるか否かを確認した後に名刺リーダーによって訪問者データを取り込むことができる。

## 【 0 0 4 0 】

認可データ出力制御手段を含むこの受付システムは、第二の識別データ読取手段が読取可能となった後に、第二の識別データ読取手段によって訪問者が予約者であるか否かを確認し、予約者である場合に認可データを出力することができる。このため、予約者であるか否かを2度確認することができ、セキュリティーシステムとしての機能を向上させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

図1は、本発明の受付システムの一態様を示す。

【図2】

図2は、図1の受付システムの受付端末を示す。

【図3】

図3は、図1の受付システムの対応者端末の画面である。図3は、訪問者予約画面である。

【図4】

図4は、図1の受付システムの対応者端末の画面である。図4は、検索画面である。

【図5】

図5は、図1の受付システムの受付端末の画面である。図5は、訪問者用画面の初期状態である。

【図6】

図6は、図1の受付システムの受付端末の画面である。図6は、読み取ったバーコードを表示している画面である。

【図7】

図7は、図1の受付システムの受付端末の画面である。図7は、訪問者に対して社員番号の入力を要求する画面である。

【図8】

図8は、図1の受付システムの受付端末の画面である。図8は、入力された社員番号を表示する画面である。

【図9】

図 9 は、図 1 の受付システムの受付端末の画面である。図 9 は読み取った名刺を表示する画面である。

【図 1 0】

図 1 0 は、図 1 の受付システムの受付端末の画面である。図 1 0 は、訪問者の電話番号を表示する画面である。

【図 1 1】

図 1 1 は、図 1 の受付システムの受付端末の画面である。図 1 1 は、訪問者に入門票の受け取りを要求する画面である。

【図 1 2】

図 1 2 は、図 1 の受付システムの受付端末の画面である。図 1 2 は、入館できない旨を表示する画面である。

【図 1 3】

図 1 2 は、本発明の受付システムの他の態様を示す。

【図 1 4】

図 1 3 は、本発明の受付システムの更に他の態様を示す。

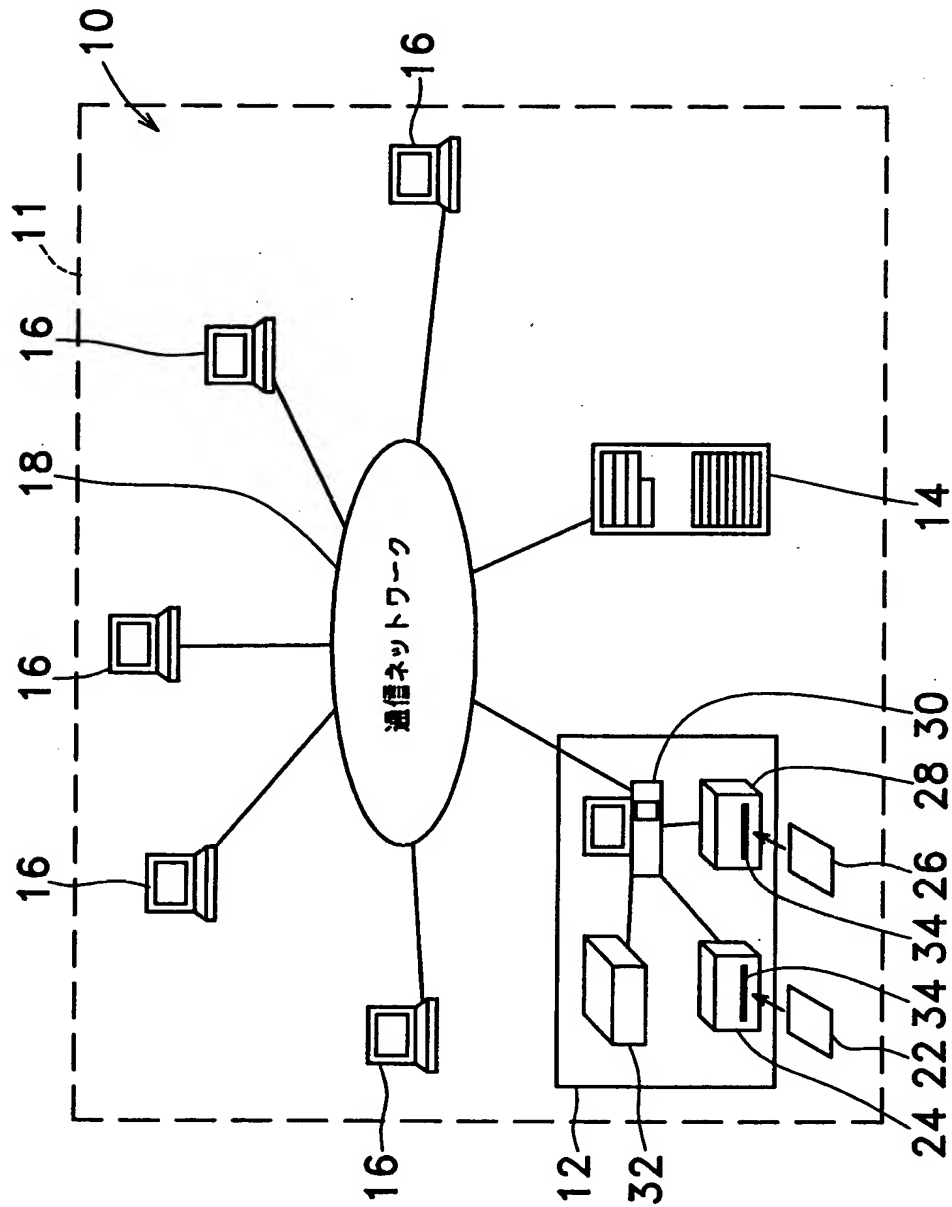
【符号の説明】

- 1 0 : 受付システム
- 1 2 : 受付端末
- 1 4 : サーバー
- 1 6 : 応対者端末
- 1 8 : 通信ネットワーク
- 2 2、2 6 : 名刺
- 2 4、2 8 : 名刺リーダー
- 3 0 : P C
- 3 2 : 印刷装置
- 3 6 : 訪問者特定手段
- 3 8 : 訪問者送信手段
- 4 0 : 予約データ送信手段
- 4 2 : 訪問通知データ送信手段

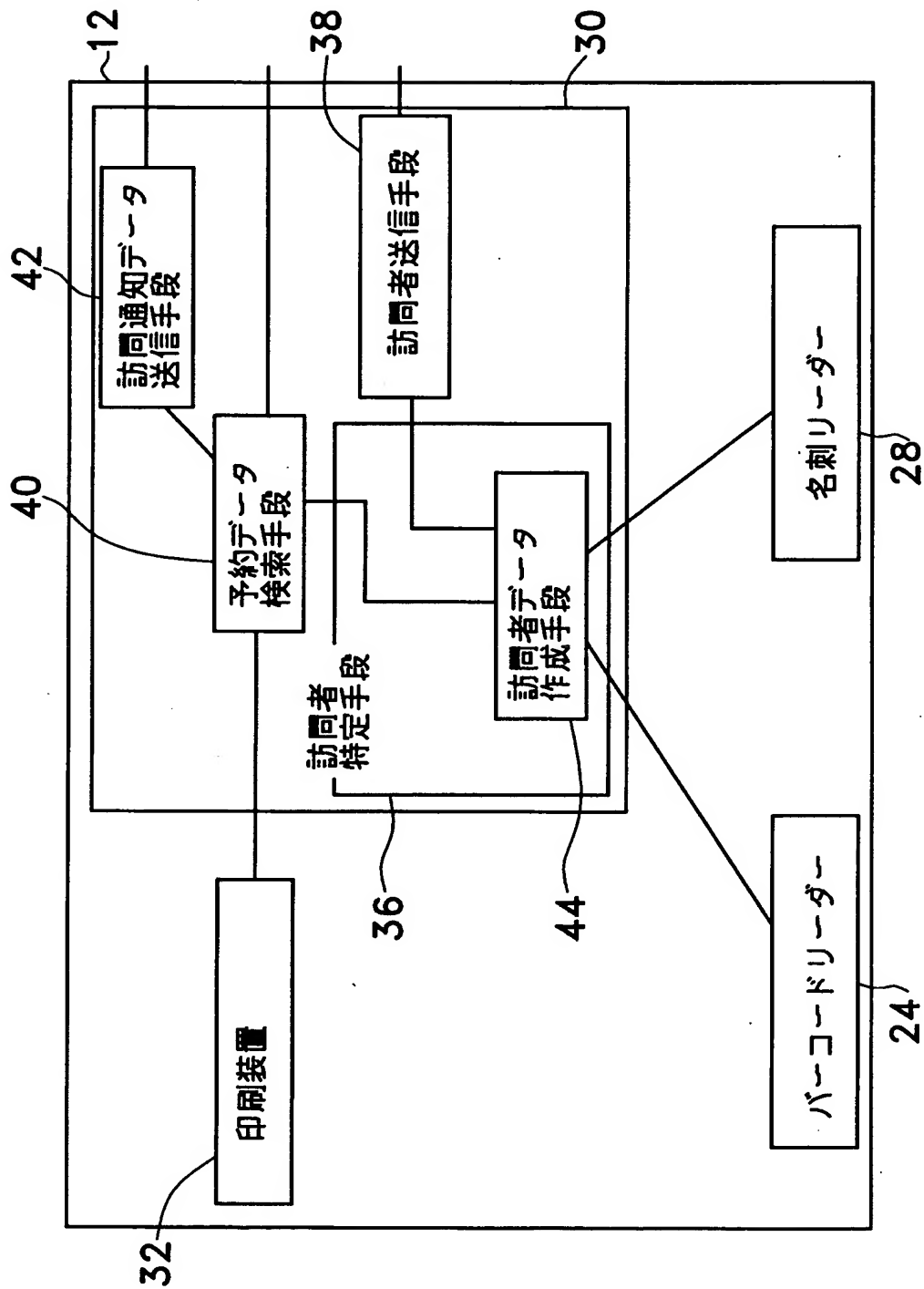
4 4 : 訪 問 者 デ ー タ 作 成 手 段

【書類名】図面

【図 1】



【図 2】



【図3】

50

訪問者予約画面

52 来客予定  
来客予定日: 2001/01/15  
開始予定時間: 12:00  
終了予定時間: 14:00

54 ▼ 来客者  
来客者名(姓): 田中  
来客者名(氏): 花子  
来客者住所: 千葉県千葉市中央区  
来客者会社: 株式会社  
来客者電話番号: 077-533-XXXX

56 ▼ ネゴルーム予約  
予約ルームNo.: 1  
開始予定時間: 12:00  
終了予定時間: 14:00  
予約者名(姓): 鈴木  
予約者名(氏): 太郎

58 起票者社員番号  
起票者社員番号: Suzuki Taro  
201A9



【図 4】

60

検索画面

来客者

来客者氏名(姓)  
来客者住所  
来客者電話番号

2000/01/15

来客者氏名(名)

ネゴルーム

予約ルームNo;  
予約者氏名(姓)  
予約者内線番号

1

予約者氏名(名)

起票者

Suzuki Taro

検索実行

検索結果表示

終了

検索条件を入力して検索実行ボタンを押してください。

【図 5】

62

2000/11/22 16:16:39

1

 バーコードリーダーで応対者のバーコードを読み込ませて下さい。

応対者  
 バーコード  
 氏名

読み取りエラー時  
 応対者社員番号  
 OK

2

 スキャナーボタンを押下し、名刺画像を取込ませて下さい。

応対者  
 御社電話番号を確認し、OKボタンを押下して下さい。  
 間違っている場合は、入力し直しOKボタンを押下して下さい。

御社電話番号（数字のみで入力）  
 OK

3

 メール送信ボタン押下して下さい。

Cancel

EXIT

メール送信

【図 6】

2000/11/22 16:16:55

1

バーコードリーダーで応対者のバーコードを読み込ませて下さい。

応対者  
バーコード

氏名

201A9

鈴木太郎

2

読み取りエラー時

応対者社員番号

OK

スキャナーボタンを押下し、名刺画像を取込ませて下さい。

スキャナー

3

メール送信ボタンを押下して下さい。

応対者

御社電話番号を確認し、OKボタンを押下して下さい。  
間違っている場合は、入力し直しOKボタンを押下して下さい。

御社電話番号（数字のみで入力）

OK

Cancel

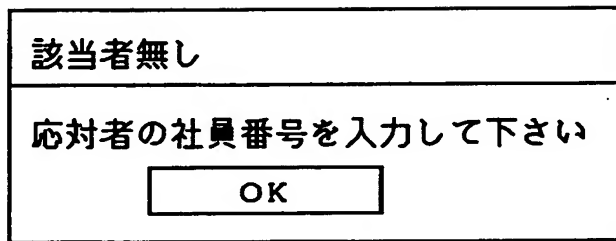
EXIT

6

出証特 2001-3105421

【図 7】

66



|                                   |
|-----------------------------------|
| 該当者無し                             |
| 応対者の社員番号を入力して下さい<br><div>OK</div> |

【図8】

2000/11/22 16:18:01

1 バーコードリーダーで応対者のバーコードを読み込ませて下さい。

応対者

バーコード 201A9 氏名 鈴木太郎

読み取りエラー時

応対者社員番号 201A9 OK

64 70

2 スキャナーボタンを押下し、名刺画像を取込ませて下さい。

スキャナー

応対者

御社電話番号を確認し、OKボタンを押下して下さい。  
間違っている場合は、入力し直しOKボタンを押下して下さい。

御社電話番号（数字のみで入力） OK

72

3 メール送信ボタン押下して下さい。

メール送信

Cancel EXIT

80

62

【図 9】

74

世界電気機械技術産業株式会社

製造部 開発課 設計係

係長

田中 花子

T 529-16XX 滋賀県大津市00町10番99号  
TEL (077) 533-XXXX  
FAX (077) 533-XXXX  
E-mail: cocococo.com

76

Go To Main Form

【図 10】

62

2000/11/22 16:17:05

1 バーコードリーダーで応対者のバーコードを読み込ませて下さい。

応対者

バーコード 201A9

氏名 鈴木太郎

64

読み取りエラー時

応対者社員番号

OK

70

2 スキャナーボタンを押下し、名刺画像を取込ませて下さい。

72

応対者

御社電話番号を確認し、OKボタンを押下して下さい。  
間違っている場合は、入力直しOKボタンを押下して下さい。

御社電話番号 (数字のみで入力) 0775333XXXX

OK

78

3 メール送信ボタン押下して下さい。

Cancel

EXIT

メール送信

【図 1 1】

82

|                    |
|--------------------|
| 予約確認               |
| 入門票を受け取って下さい<br>OK |

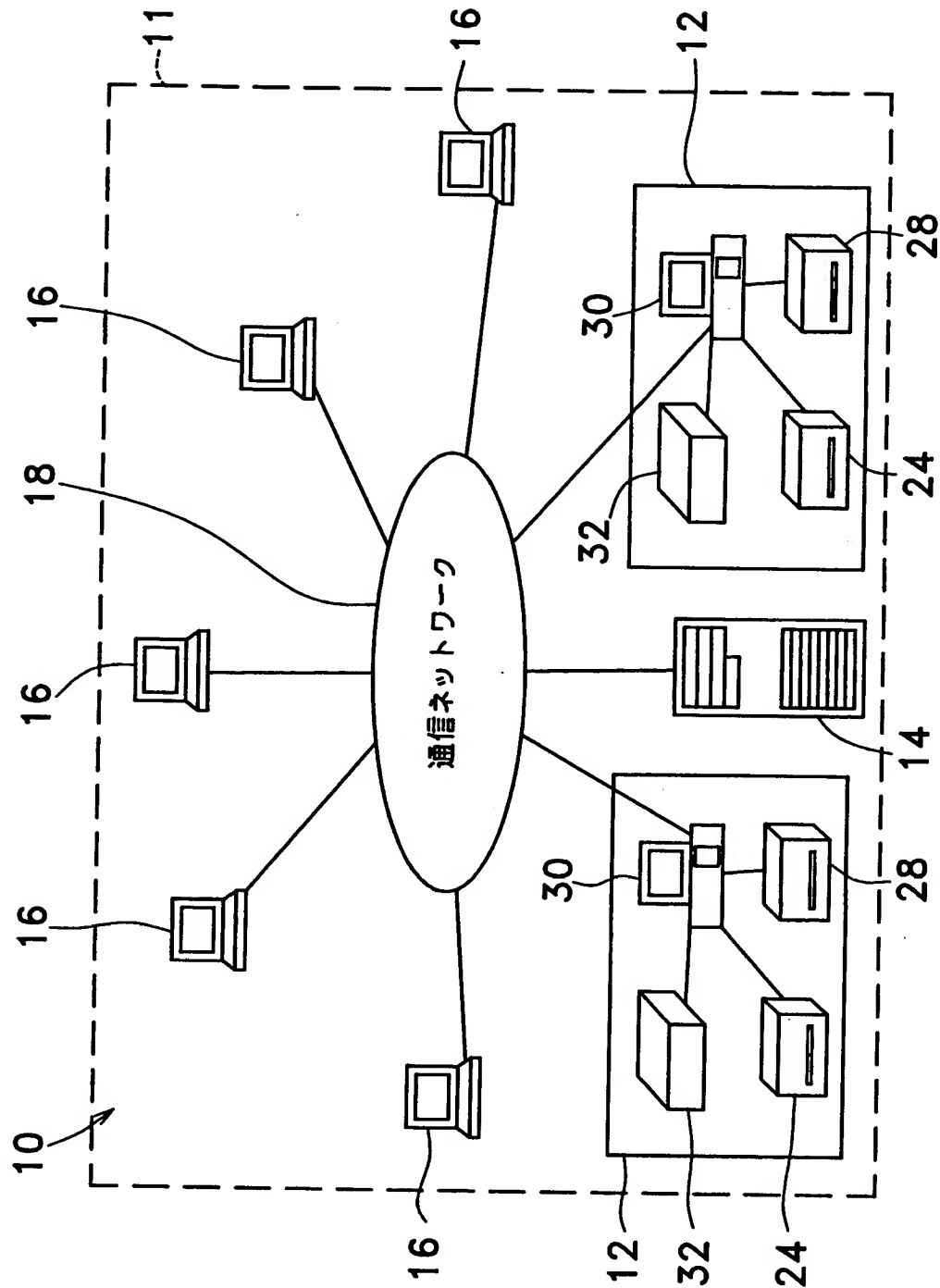


【図 1 2】

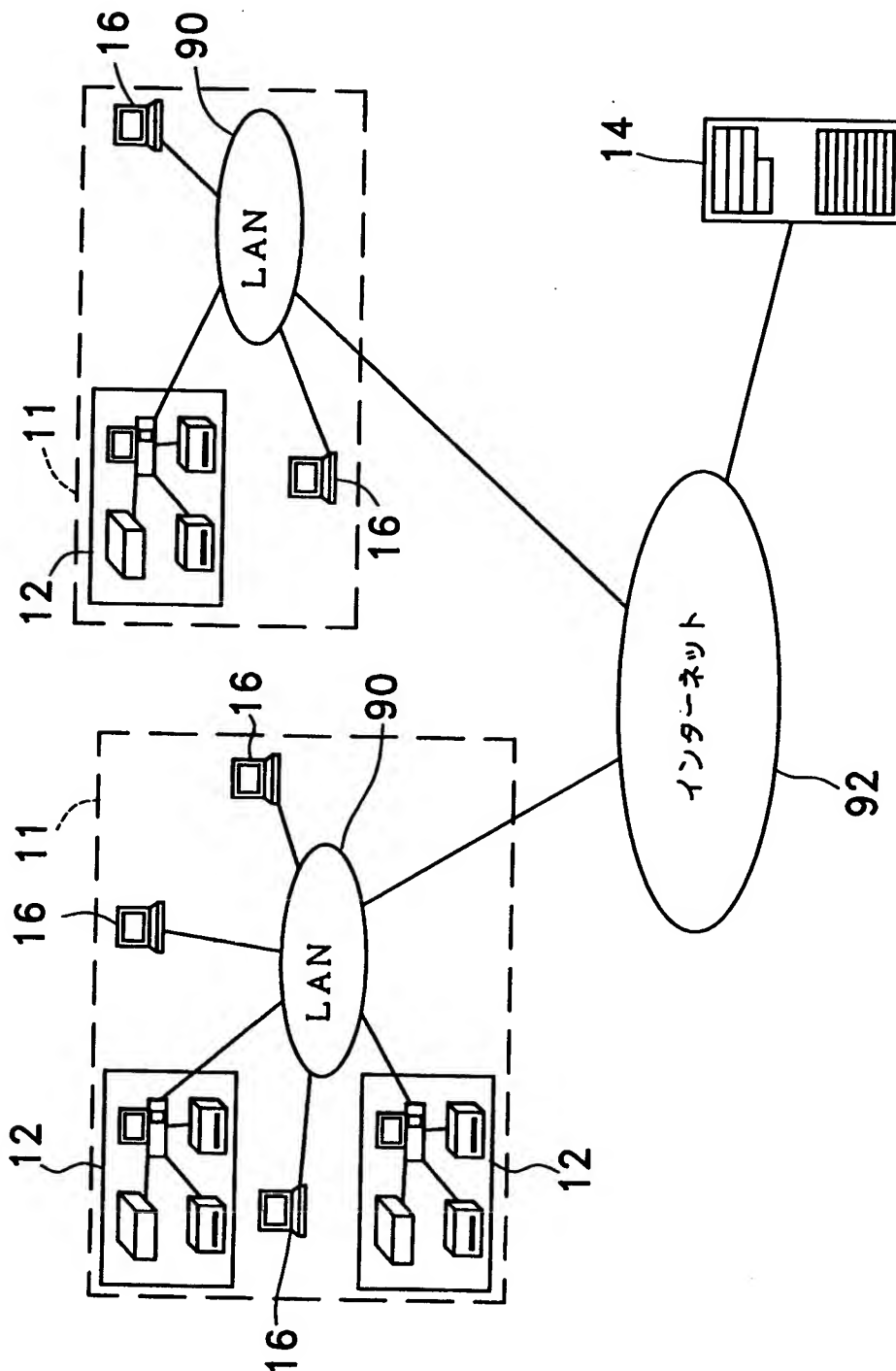
84

|                                     |
|-------------------------------------|
| 予約確認                                |
| 予約が有りませんので、入館できません。お急ぎの場合は電話で連絡下さい。 |
| <div>OK</div>                       |

【図13】



【図14】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 受付処理を容易かつ迅速に行う受付システム、受付処理方法、及び受付処理用プログラムを提供する。

【解決手段】 受付システム 1 0 が、受付端末 1 2 とサーバー 1 4 と応対者端末 1 6 とを含む。受付システム 1 0 は、営業所 1 1 内に設けられる。受付端末 1 2 とサーバー 1 4 と応対者端末 1 6 とは、通信ネットワーク 1 8 を介して通信可能に接続される。受付端末 1 2 は、受付に設置される。サーバー 1 4 は、多数の来訪データを記憶できるコンピューターである。

【選択図】 図 1

認定・付加情報

|         |               |
|---------|---------------|
| 特許出願の番号 | 特願2001-093452 |
| 受付番号    | 50100450183   |
| 書類名     | 特許願           |
| 担当官     | 小暮 千代子 6390   |
| 作成日     | 平成13年 5月14日   |

<認定情報・付加情報>

|          |  |
|----------|--|
| 【提出日】    | 平成13年 3月28日                              |
| 【特許出願人】  |  |
| 【識別番号】   | 390009531                                |
| 【住所又は居所】 | アメリカ合衆国10504、ニューヨーク州 アーモンク (番地なし)        |
| 【氏名又は名称】 | インターナショナル・ビジネス・マシーンズ・コーポレーション            |
| 【代理人】    |  |
| 【識別番号】   | 100086243                                |
| 【住所又は居所】 | 神奈川県大和市下鶴間1623番地14 日本アイ・ビー・エム株式会社 大和事業所内 |
| 【氏名又は名称】 | 坂口 博                                     |
| 【代理人】    |  |
| 【識別番号】   | 100091568                                |
| 【住所又は居所】 | 神奈川県大和市下鶴間1623番地14 日本アイ・ビー・エム株式会社 大和事業所内 |
| 【氏名又は名称】 | 市位 嘉宏                                    |
| 【代理人】    |  |
| 【識別番号】   | 100106699                                |
| 【住所又は居所】 | 神奈川県大和市下鶴間1623番14 日本アイ・ビー・エム株式会社大和事業所内   |
| 【氏名又は名称】 | 渡部 弘道                                    |
| 【復代理人】   | 申請人                                      |
| 【識別番号】   | 100094248                                |
| 【住所又は居所】 | 滋賀県大津市栗津町4番7号 近江鉄道ビル5F<br>楠本特許事務所        |
| 【氏名又は名称】 | 楠本 高義                                    |

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [390009531]

|          |                                   |
|----------|-----------------------------------|
| 1. 変更年月日 | 2000年 5月16日                       |
| [変更理由]   | 名称変更                              |
| 住 所      | アメリカ合衆国10504、ニューヨーク州 アーモンク (番地なし) |
| 氏 名      | インターナショナル・ビジネス・マシーンズ・コーポレーション     |



Creation date: 10-21-2003  
Indexing Officer: DTURNER2 - ANJANETTE TURNER  
Team: OIPEBackFileIndexing  
Dossier: 10085381

Legal Date: 06-27-2003

| No. | Doccode | Number of pages |
|-----|---------|-----------------|
| 1   | SRNT    | 3               |

Total number of pages: 3

Remarks:

Order of re-scan issued on .....